

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 398

2023年9月1日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F

Tel : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/> mail:info@9jou.jp

宮城県内九条の会連絡会総会を開催します

日本国憲法公布・施行76年「宮城県内九条の会連絡会第13回総会を開催します。宮城県内九条の会連絡会には130の九条の会が参加して様々な活動を行っています。岸田内閣の下で「戦争する国への梶が急激に切られている」中各地域の活動を交流しましょう。記念講演は小澤隆一さん（東京慈恵医科大学教授）にお願いしています。

日時：9月3日（日）13:30～16:30

会場：東京エレクトロンホール宮城（県民会館）第601会議室

記念講演（13:30～15:45） 演題「平和主義を捨て去る改憲・大軍拡を許さないために」

講師：小澤隆一さん（東京慈恵医科大学教授）

総会（15:45～16:30）

2023年度の活動報告と2024年度の活動計画及び討論

主催：宮城県内九条の会連絡会

宮城県内九条の会連絡会 2023 総会記念 講演会

平和主義を捨て去る 改憲・大軍拡を許さないために

講演 小澤隆一氏
(東京慈恵医科大学教授・九条の会事務局)
「大軍拡と改憲NO! 憲法で命とくらしを守ろう」

2023 **9/3**(日) 13:30～ 参加費 500円
東京エレクトロンホール 601 会議室
(宮城県民会館)



岸田首相は事もなげに大軍拡や原発帰帰を断行しようとしています。
昨年末の安全保障関連法3文書改定は、専守防衛を旨としてきた安全保障のあり方を180度転換する重要な内容にもかかわらず、閣議決定だけで決めてしまうという、横暴な政治が行われています。先の通常国会においては、全く不十分な議論のまま、様々な関連法も成立しています。
日本維新の会など、そうした政権の有り様を補充する勢力の台頭も看過できません。
今こそ、日本国憲法の平和を希求する精神を捉え直し、9条の生きる日本、憲法に基づく政治を取り戻さなければなりません。
主催者としての責任を果たすため、私たちは何をなすべきでしょうか。

15:30より連絡会総会を開催致します。

連絡先 022-728-8812 みやぎ憲法九条の会

憲法改悪をゆるさない全国署名(9/1 現在)

宮城県内 9 条の会連絡会 : 4,309 筆 他団体 : 9,306 筆

県民運動推進連絡会みやぎ集約 : 13,615 筆

署名欄付きハガキの増刷が近々できます。宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数お送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

みやぎ憲法九条の会 : 〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト5F

☎022-728-8812 mail:info@9jou.jp

* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「//」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしくお願いたします。



宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所 : 仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間 : 12時から13時まで。

実施日 : 9月5、12、26日(19日は「19日行動」のため休みます。)

9月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

●仙台市 : 9月19日(火) 12:00~13:00 場所 : 仙台市中央通東二番丁平和ビル前

- 石巻市：9月19日（火）15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：9月19日（火）13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：9月19日（火）13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：9月19日（火）11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：9月19日（火）13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：9月19日（火）15:00～15:30 場所：岩沼駅前
- 仙南九条の会：9月19日（火）11:00～ 場所：角田市内ヨークベニマル前交差点

9月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キツカりに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・ 名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近 ・ 涌谷町：涌谷公民館前交差点 ・ 小牛田：国道108号山の神神社前交差点

地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・ 宮城野原九条の会：23日行動9月23日(水)13:00～13:30 坂下交差点
- ・ 鶴ヶ谷地域九条の会：9月6日(第1水)11:00～12:00 鶴ヶ谷団地入口 9月20日(第3水)11:00～12:00 鶴ヶ谷生鮮市場前
- ・ 加茂九条の会：毎週月・水・金の7:30～8:15、毎週水14:00～14:30の4回ショッピングセンター「ランチ仙台」の前で“ロシアのウクライナ侵略反対”でスタンディング
毎週木曜日 13:30～14:00「大軍拡・大増税NO！」でスタンディング
場所：泉区、北環状線と仙台大衡線の交差点、ランチ仙台の前、のぼり旗が目印。

【これからの県内活動情報】

音楽と講演のご案内

～バイオリン演奏を楽しみ平和について語り合いましょう～

日時：2023年9月3日（日）13時00分～15時30分

会場：片平市民センター

☆オープニング：バイオリン演奏

演者：山本靖子さん（元仙台フィル バイオリン奏者）

演目：「ベートーベンのメヌエット」、「モーツァルトのメヌエット」「エルガーの愛のあいさつ」その他

☆講演：

演題：「憲法前文・9条による戦争の防ぎ方と終わらせ方～ウクライナ危機と中国・台湾問題から考える～」

講師：草場裕之さん（仙台弁護士会所属弁護士）

☆自由討論

進行：遊佐みゆきさん（県議会議員）

主催：片平九条の会

連絡先：犬飼健郎法律事務所 022-262-5525

* コロナ感染防止対策を徹底して実施します。咳や発熱、倦怠感など体調のすぐれない方は参加を見合わせてください。また、マスク着用でのご参加をお願いします。

東日本大震災 12年のつどい

漂流する「創造的復興」の現在地

～二つの大震災から被災者支援の在り方を考える～

県民センターから「創造的復興」を巡る現状について報告し、災害公営住宅・アルプス処理水・女川原発再稼働等の各団体の取り組みを報告します。

日時：2023年9月2日（土）13時30分～

会場：仙台弁護士会館4F大ホール

基調講演：「二つの大震災を踏まえ、被災者支援の在り方を考える（仮題）」

講師：津久井進さん（弁護士、元日弁連災害復興支援委員長、前兵庫県弁護士会会長）

主催：東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター

問合せ先：FAX 022-399-6925 email: miyagi.kenmincenter@gmail.com

*Zoom 参加も可能で、ご希望の方は下記 URL からご参加下さい（先着 100 名まで）。

<https://us02web.zoom.us/j/87622039214?pwd=TnMvN1BrYmhpYW9rRHNYRHFJbW1OZz09>

ミーティング ID: 876 2203 9214 パスコード: 669511

鶴ヶ谷地域九条の会憲法 cafe

今こそ伝えたい！私の戦争体験」&へいわの輪「絵本キャラバン」

78 年間、憲法 9 条の下、私たちは害事と戦争をしない、そして戦争しない国として世界から尊敬される国を築いてきました。この平和が継ぎの世代のみなさんに引き継ぐことができるようにと願っています。

日時：2023 年 9 月 17 日（日）13 時 10 分～15:30

会場：鶴ヶ谷市民センター第一会議室

第一部：13:30～14:00

お話：「空が真っ暗になるほどの爆撃機」 刈田啓史郎さん

絵本の読み聞かせ：（読み聞かせ隊杜のひょうたん）

第二部：14:20～14:40

お話：「頭の真上で爆弾が落とされた」 宮田敬子さん

絵本の読み聞かせ：（読み聞かせ隊杜のひょうたん）

入場無料：どなたでも参加できます。

主催：鶴ヶ谷地域九条の会

協力：みやぎ生活協同組合、読み聞かせ隊杜のひょうたん。

問合せ先：鶴ヶ谷地域九条の会事務局担当 篠原富雄（090-8780-8091）



宮城女性九条の会 上映会・2023 年度定例総会

三上智恵監督ドキュメンタリー映画「沖縄、再び戦場へ（仮題）」

沖縄の映画監督三上智恵さんは現在沖縄で進むミサイル基地化を全国の人々に知らせるために映画「沖縄・再び戦場へ（仮題）」の制作に取り組んでいます。来春公開予定ですが、現時点での沖縄の状況を知るために、編集完成する前の映像作品を上映することにしまし

た。

日時：2023年9月23日（土・祝）13時30分～14:30 上映会 14:40～15:30 定例総会
会場：仙台YWCA会館 1F（地下鉄北四番丁駅より徒歩5分 駐車場はありません）
参加費：300円

* 予約不要。男女どなたでもご参加ください。マスク着用をお願いします。

主催：宮城女性九条の会（仙台市青葉区上杉 2-1-10 仙台 YMCA 会館内）

連絡先：090-5832-6836 FAX 022-241-0429

東北女性弁護士9条の会講演会

「KNOW NUKES TOKYO 核のない世界をデザインする」

核兵器は個人の尊厳、つながり、社会、そしてこれから築く未来を危機に晒していますが、核兵器廃絶の実現はまだ見えません。ロシアのウクライナ侵攻から1年以上経過しましたが、収束の見込みはなく、核使用の危険性も指摘されている状況です。このような状況の中、政治、社会、経済、多様な視点で核兵器廃絶への役割を模索する若者たちがいます。「KNOW NUKES TOKYO」の活動を通して、ともに核兵器のない世界、憲法九条が目指す世界への道筋を考えましょう。

日時：2023年9月30日（土）14時00分～16時00分（開場：13:30）

会場：仙台弁護士会館4階

講師：中村涼香さん（2000年長崎県生まれ、23歳。上智大学在学、「KNOW NUKES TOKYO」共同代表）

入場無料・予約不要

主催：東北女性弁護士9条の会

事務局：佐久間敬子法律事務所 022-267-2288 小島妙子法律事務所 022-225-5108

吉野作造記念館 2023年度前期企画展

戦後の吉野作造「再発見」～家族・教え子・故郷の人々～

吉野の生涯を大きく超える70余年にわたり、吉野の遺族、教え子らの関係者、地元の人々、国内外研究者などの幅広い人的ネットワークの中で行われてきた吉野作造顕彰の歴史を紐解きつつ、各時代に寄贈された当館蔵の貴重な資料を一挙展示します。

日時：7月23日（日）～9月24日（日）

会場：吉野作造記念館企画展示室

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌火曜日）

開館時間：9:00～17:00

入館料：一般 500 円 高校生 300 円 小・中学生 200 円

主催：吉野作造記念館(大崎市古川福沼 I-2-3 0229-23-7100)

袴田事件を考える市民集会

～死刑廃止、人質司法の打破、再審法改正を求めて～

①無実の市民が虚偽の「自白」をするほどに追い込まれてしまうような身体拘束のもとでの過酷な取り調べ、②えん罪により時には死刑にまでされてしまう恐ろしさ、③えん罪から救済するためにはあるはずの再審制度が機能していない問題について、袴田さんの事件を通して皆で考えてみませんか。

日時：2023年10月14日（土）13時30分～16時00分（開場：13時00分）

会場：仙台国際センター大会議室「橘」（地下鉄東西線「国際センター駅」から徒歩1分）

（1）基調講演：「袴田事件はどういう事件なのか（仮題）」

講師：小川秀世弁護士(袴田事件弁護団事務局長 静岡県弁護士会)

主催：東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター

（2）袴田ひで子さんへのインタビュー、その他

主催：仙台弁護士会 共催：日本弁護士連合会

問合せ先：仙台弁護士会 022-223-1001

加茂市民センターまつりへの展示参加

「ミニ 知る原爆展」～身近なところで、身近な方へ、語り継ぐ機会に～

1945年の広島・長崎への原爆投下から78年。長年被爆者が求めていた、核兵器の使用や保有などを法的に禁ずる「核兵器禁止条約」が国際法として2021年に発効しました。日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准することを求めるとともに、核兵器がもたらした被害や苦しみの実相を知る機会として「ミニ原爆展」を開催します。広島から取り寄せた資料を用意しました。配布資料：「知る原爆」（朝日新聞タブロイド紙）、「はじめてのヒロシマ」（低学年用）「広島平和記念資料館・学習ハンドブック」（高学年用、中学生・高校生用）「ヒロシマ～原爆被害の概要と今なお続く核兵器の脅威～」(以上4点は広島平和記念資料館)

日時： 10月15日（日）10:00～15:00

会場：泉区加茂市民センター体育館、市民センターまつり展示スペース

主催：戦争を語り継ぐ会（野原、378-0872）、泉病院友の会・平和の委員会 378-3883

第16回 平和と民主主義を学ぶ旅

「満蒙開拓団の歴史から学ぶ」

～鹿島台・南郷から渡満した人々・戦争の被害と加害の記憶～

満州事変を契機として農業移民が計画化され、日中戦争の本格化にともなって「国策」として大量の開拓団が送り込まれました。その役割は、ソ連国境の防備強化と満州国内の日本人を増やすことにあり、“開拓地”のほとんどは現地民の所有する肥沃な土地を収奪したものでした。宮城県からは長野・山形に次ぐ全国で3番目に多い約1万人が渡満しました。戦況悪化の中で男性団員は兵士として現地招集され、女性と高齢者・子どもが開拓地を守る状況となりましたが、敗戦によって悲惨な体験をすることになり、団員28万人のうち8万人が亡くなりました。鹿島台分村は、他と比べて恵まれた環境にありましたが、敗戦により開拓団員271人のうち184人が犠牲になりました。

◆現地学習会 ①「鹿島台分村の歴史」 講師：鈴木光太郎さん（鹿島台歴史研究会）

◆当日行程 →②鹿島台・上戸公園「拓魂碑」→③昼食：美里町「野の風」菜園レストラン→④南郷・玉蓮寺「観音像」碑（説明：伊藤 有さん）→⑤石巻市北村・「私設平和記念館」（佐々木慶一郎さん宅）

日時： 10月26日（木）9:00～16:30

集合：8:50、泉病院臨時駐車場（長命ヶ丘）、9:05泉中央（個別対応・後日指定）

募集：15人、 参加費：1500円＋昼食1400円（普通車に分乗）

主催・申込先：泉病院友の会・平和の委員会 378-3883

【九条の会が声明】

岸田政権の軍拡に反対し憲法改悪を阻止する市民の総決起の秋を創ろう！

2023. 08. 03. 「九条の会」事務局

6月21日に閉会した第211通常国会では、「安保3文書」の実行を狙って大軍拡予算とともに軍需産業育成法・軍拡財源法など多くの悪法が成立しただけでなく、憲法審査会を中心に与党と、維新の会、国民民主党などによる改憲の企てが急速に進行しました。岸田文雄首相は、国会閉会後の記者会見で、自らの自民党総裁としての「任期において憲法を改正する努力をする」と、来年9月までの改憲に強い意欲を示しました。岸田首相は、政権延命のため今秋にも解散を狙っていますが、解散・総選挙の結果次第で維新の会が野党第1党になるようなことがあれば、軍拡や改憲の企てが国会において一気に進行する危険があります。

いま、私たちは、文字通り軍拡と改憲の戦争する国か、憲法の人権と民主主義が活かされる平和な国かの岐路に立っています。

こうした岸田の企てを阻止するには、少なくとも来年秋の改憲実現を挫折に追い込むまで、この秋から市民が総決起することが必要です。

そのため、九条の会は、首都圏の会を中心に実行委員会を組織し、来る10月5日（木）の夜に中野ゼロ大ホールで「九条の会大集会—大軍拡反対！憲法改悪を止めよう！」を開催することにしました。「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」と「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」にも協賛をお願いし引き受けていただきました。

そして、この集会をステップにして、11月3日の憲法公布記念日を挟む11月を「軍拡反対、岸田改憲阻止の総行動月間」とし、全国各地の九条の会の皆さんや改憲に反対する市民の皆さんが大軍拡と改憲に反対する多様な行動に立ち上がるよう訴えるものです。

今、私たちの周りには困難があります。この間の国政選挙で、改憲勢力は衆参両院とも3分の2を超えています。野党共闘も困難にさしかかっています。しかし、振り返ってみましょう。小泉政権が改憲を提起したとき、衆参両院では改憲に好意的な勢力は3分の2を超えていました。けれども、04年6月に9人の呼びかけにより九条の会の結成が呼びかけられ全国各地に九条の会が続々結成され改憲反対の声が沸き起こる中、世論は大きく変化し、改憲の企図は挫折に追い込まれました。2017年に安倍首相が改憲を提起した時も衆参両院では改憲勢力が3分の2を超えていましたが、「市民と野党の共闘」の頑張りに励まされ、憲法審査会でも立憲野党が頑張っただけで安倍改憲を挫折に追い込んだのです。

改憲勢力もたくさんの矛盾を抱えています。私たちが立ち上がれば、改憲は必ず阻止することができます。

全国の九条の会の皆さん、そして改憲に反対する市民の皆さんに、改めて訴えます。この秋、大軍拡に反対し憲法改悪を阻止するため、声を上げ、立ち上がりましょう。10月5日、大集会に集いましょう。そして11月には全国各地で創意を凝らして行動を起こしましょう。

多賀城懇話会スタンディングアピールに15人参加

8月3日、84回目となるスタンディングアピールは、燃えるような暑さのなか、ヤマダ電機店前8名、下馬交差点7名 計15名が参加して取り組まれました。(多賀城懇話会ニュース149号より)



←下馬駅前でのスタンディング

【出前上映会案内】

「無料・出前上映会」をしませんか

「望郷の鐘」～満蒙開拓団の落日・山本慈昭の生涯～

1945年5月に満蒙開拓団の教師として満州に渡り、8月9日のソ連参戦の中で妻子を失い、自らもシベリア抑留を経て帰国し、中国（旧満州）に残された残留遺児、残留婦人救出に生涯をかけた故山本慈昭師（長野県・長岳寺住職）の物語。

国策によって27万人以上の人々が満州に開拓移民等として渡り、敗戦によって死の逃避行といわれるような、人間としての極限状況の中で多くの人々が犠牲になりました。

監督：山田火砂子、出演：内田剛志ほか、2015年公開、102分。

普通の国民が、戦争の被害者でもあり、加害者になってしまった満蒙開拓の現実をこの映画を通して知っていただきたいと思います。

制作会社から県内での上映許可を受けていますので、上映会場をご用意いただければ、無料で「出前上映」に出向きます。ご希望方は、下記連絡先にご相談ください。

申込先：泉病院友の会・平和の委員会 378-3883（担当：小磯 090-2889-7474）

第 48 回平和七夕のお礼と報告

2023. 8. 25 「平和を祈る七夕市民の会」

第 48 回平和七夕にご協力、ご参加、ご賛同くださいました皆様に心から感謝申し上げます。仙台七夕まつりの初日 8 月 6 日は「ヒロシマ原爆犠牲の日」です。この日を忘れないように、原爆の惨禍を繰り返さないようにと私たちは仙台七夕まつりの会場に 4 年振りに通常、飾っていた 3 メートルの「ノーモアヒロシマ・ナガサキ」の竹飾りを 5 本飾り仙台七夕まつりの見物者 220 万人に「平和」「核廃絶」「ウクライナ戦争反対」を訴えました。コロナ禍で始めた分散展示では県内、福島、山形県を合わせて 67 ヶ所に拡大し運動の輪を大きく広げることが出来、大きな反響をいただきました。

今年の平和七夕は、

① 「平和」「ノーモアヒロシマ・ナガサキ」「ウクライナ戦争反対」を祈る七夕飾りを 67 会場に分散して飾ることができました。

② 次の世代を担う子供たちに運動の輪広めたいと取り組んできましたが今年は T 高校の生徒会、S 高校

の宗教部と書道部、T 高校の JRC 部、東京東村山の高校、会津の高校、在仙の 10 数校の高校生の参加等若い世代に運動の輪が広がりました。

③ ロシアの侵攻によるウクライナ戦争の最中です。「平和でなければ」と多くの方が平和七夕の吹き流しの下で「子・孫」に原爆・ウクライナ戦争の事をお話していました。平和の伝承がされていました。

④ 秋の文化祭に数校の高等学校と尚網大学で平和七夕の吹き流しを展示し、「ノーモアヒロシマ・ナガサキ」を訴えてくださいます。

⑤ 東日本大震災以降、被災地ポランティアと合わせて平和七夕に参加していた東京、会津若松など県外

の高校生はコロナ禍の影響で参加できませんでしたが今年は仙台で 3校合同の作業が出来ました。

⑥ 6100本のレイ配りは、感染予防に留意し、10時から16時まで3日間行いました。

⑦ 全国各地から届いた折り鶴は60万羽でした。なお44年前から参加している北海道岩内ユネスコ協会は、今年も運動の輪を全道に広げ、21万羽の折り鶴を送っていただきました。

③ ネパールで実施されたアジアYMCA集会に50本のレイを持参しいただき「ノーモアヒロシマ・ナガサキ」を訴えていただきました。

◎ 石巻平和七夕の会が石巻大川小学校に平和七夕を飾り、多くの方に平和の尊さを訴えました。

ロシアのプーチン大統領は、核兵器を使う準備があると発言し、ベラルーシに枝兵器を配置しました。

機兵器の使用も威嚇も絶対に許されないことです。機兵器の脅威を取り除くには機兵器廃絶しかありません。私達は「ノーモア・ヒロシマ、ナガサキ」の祈りを込めた折り鶴を通して「核兵器の廃絶」「平和の尊さ」を訴える運動をこれからも継続していきたいと思っています。ありがとうございました。

会計報告

昨年度繰越金：420.651円、皆様から寄せられました募金額：520.970円、今年の支出金：4019.569円残金：532.052円※残金は来年に繰り越させていただきます
--

「平和を祈る七夕市民の会」代表 油谷重雄

〒981-3122 仙台市泉区加茂 5-22-5

TEL/FAX 022-378-5765 携帯 090-7068-6706